

# 京都グリーンCPS発足と活動紹介 ～サプライチェーンの連携強化～

**KYOTO**



# 「京都グリーンCPS」の活動概要



## 「京都グリーンCPS」の概要目的と狙い

- 各事業者は脱炭素活動を推進していかなければならない状況下ではあるが、その具体的な進め方については不透明で明確にされていない現状がある。この問題については個社で対応することの限界があり、**問題意識を共有する地域企業で集まって共通活動を行う**ことで、脱炭素活動を加速する。
- 特に脱炭素活動へ向けてのアプローチでは、エネマネや算定手法の知識取得などに留まらず、事業部やサプライヤの巻き込み、また、製品設計から循環経済の構築まで、幅広い。そのため、**いくつかのテーマを定めて、各テーマに対応するセグメントとして活動を進め**、各社の実務活動へと落とし込んでいくためのメソドロジーを確立する。

脱炭素活動は「知る・測る」から「減らす」段階に移る中で、脱炭素方式メソドロジーを確立するとともに経営層から製品開発、製造やサプライヤ、また、市場との連携での合目的性の確立が重要、そのためのネットワークづくりや意識醸成を図ります。

以下のセグメントで活動を開始、各セグメントの成果、アウトプットは協議会内外で発信し、地域産業へ貢献

#### A: 製品軸での評価・開示

今後のGHG排出量算定は世界的に製品軸（CFP）で進む流れ。スコープ1,2とともにスコープ3に関する活動量の考え方や、また、活動量の取得方法の実現手段や手法の確立を目指して活動を推進する。

#### B: エコデザイン

GHG排出量削減にとどまらず、資源循環の考え方はモノづくりの大きな潮流となってくる。そのため、製品設計から使用、廃棄に至るまで、リサイクル、リユースに係るサーキュラーエコノミの考え方について探索を行う。

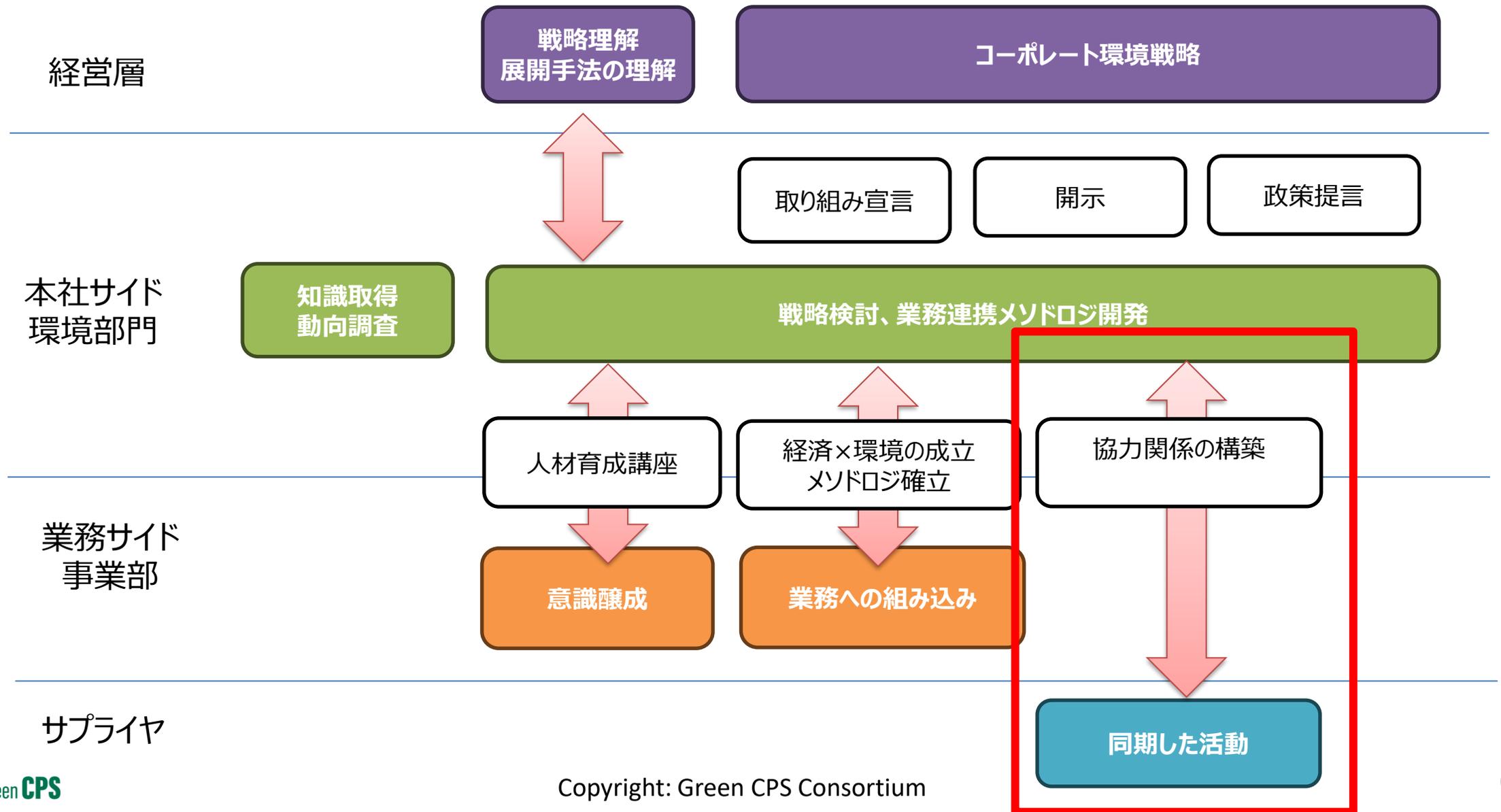
#### C: サプライヤ・マネジメント

GHG排出量の削減フェーズに入っている今日、その活動の実行主体は環境部門から事業部門やサプライヤ等の関係企業に移っていく。そのため、それらの組織のインクルージョンを図っていくマネジメント手法の確立を進める。

#### D: 情報共有・コラボ

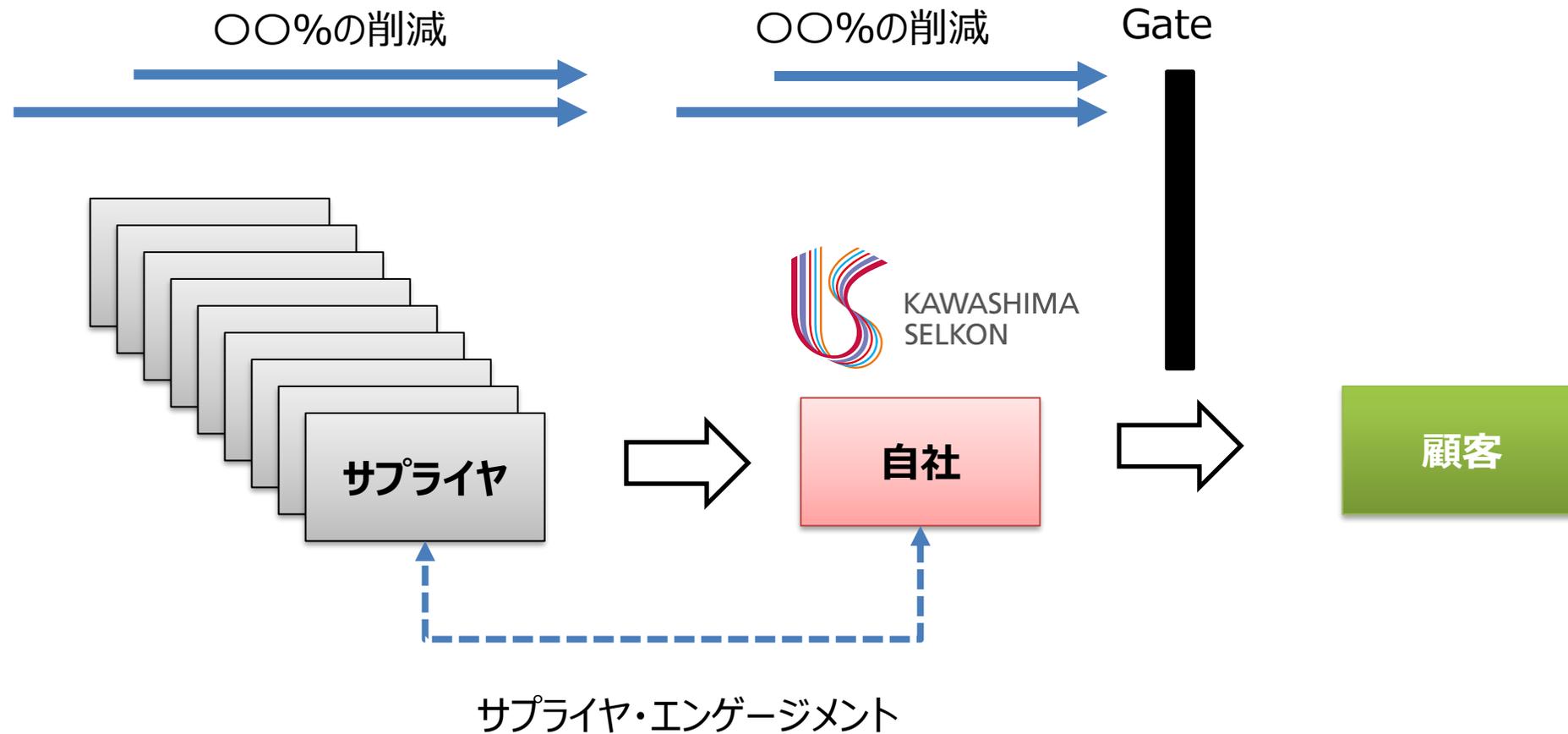
環境問題対応の難しさは、国内外の多くの評価制度やガイドラインは確立しておらず、今後も変化していくことにある。新しい動きや評価の考え方の変化をいち早く得て、会員各社の実務活動へ展開していく活動を進める。

# 脱炭素活動に向けて、各組織への連携戦略を推進

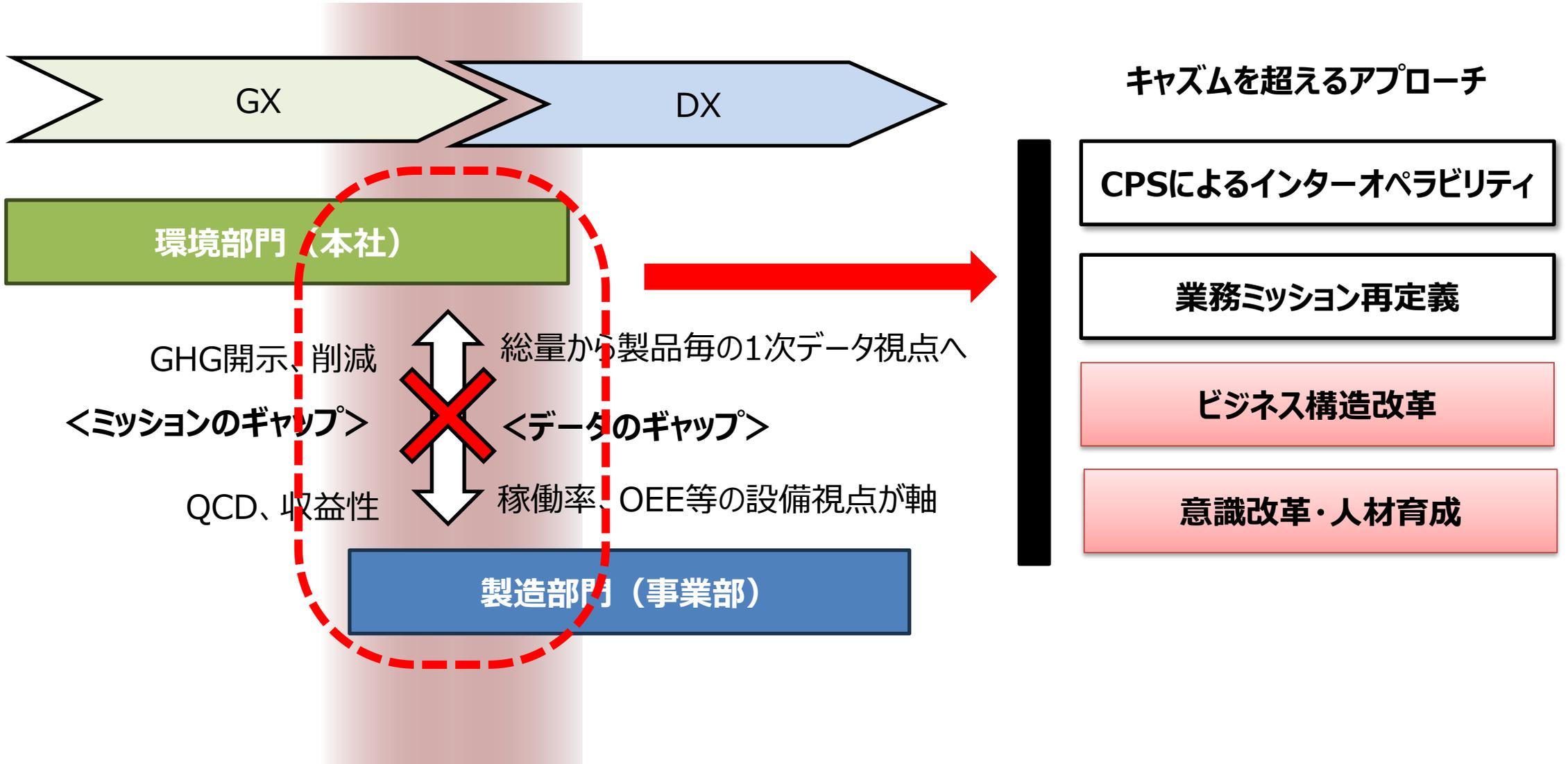


# 川島織物セルコンさんの取り組み／サプライヤ・エンゲージメント

サプライヤ・エンゲージメント活動を通じて自社のGHG排出量の削減を推進する



# メイン・テーマ : 「GX to DX のキャズムを超える」



## キャズムを超えるアプローチ

CPSによるインターオペラビリティ

業務ミッション再定義

ビジネス構造改革

意識改革・人材育成

C:サプライヤ・マネジメント

# 川島織物セルコン／会社概要

## 株式会社川島織物セルコン (KAWASHIMA SELKON TEXTILES CO.,LTD. )

本社所在地	〒601-1123 京都府京都市左京区静海市原町265
創 業	1843年（天保14） 2月26日
資 本 金	100百万円
売 上 高	25,065百万円 （2024年3月期）
営業利益	243百万円 （2024年3月期）
従業員数	936名 （2024年7月1日現在）
事業概要	<p>【身装・美術工芸事業】 帯、緞帳、祭礼幕、和装小物などの製造販売</p> <p>【インテリア事業】 カーテン・カーペット、壁装、インテリア小物などの製造販売、室内装飾工事</p>



# 川島織物セルコン／会社概要

## 身装・美術工芸事業

### ■ 日本の美を極める

- ◇創業来、180年にわたり継承している事業
- ◇培ってきた技術の伝承に努める
- ◇現代の技術や感覚も取り入れ、日本の美を極める

### ■ 主な取り扱い商品

帯、緞帳、祭礼幕、打掛、化粧廻し、テーブルセンター 等



## インテリア事業

### ■ 最高品質の追求

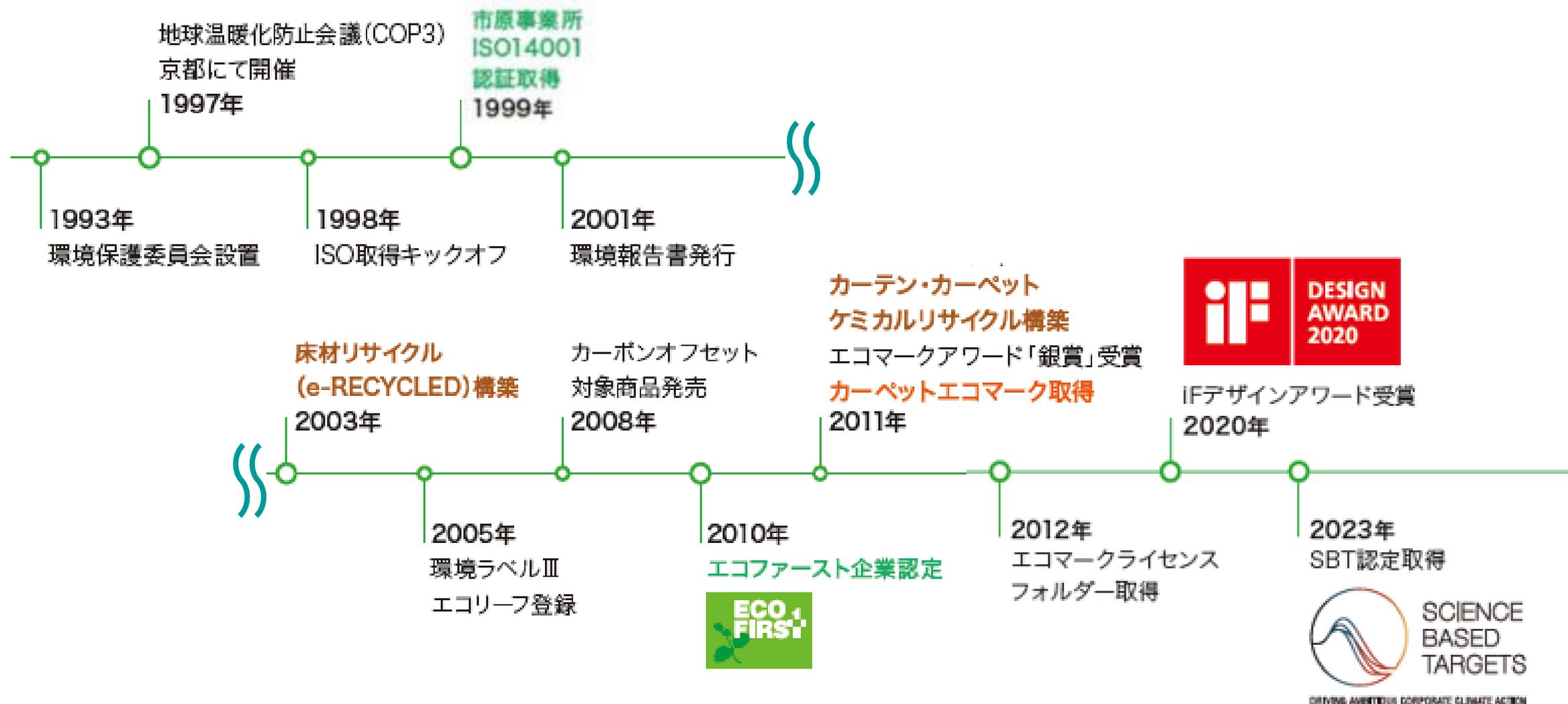
- ◇明治宮殿の内装織物を謹製した事に始まる事業
- ◇当時よりトータルコーディネートにこだわる
- ◇様々な空間に最適な内装をトータルに提案

### ■ 主な取り扱い商品

カーテン、カーペット、床材、壁装材、椅子張り  
ホームファッション小物、室内装飾工事等



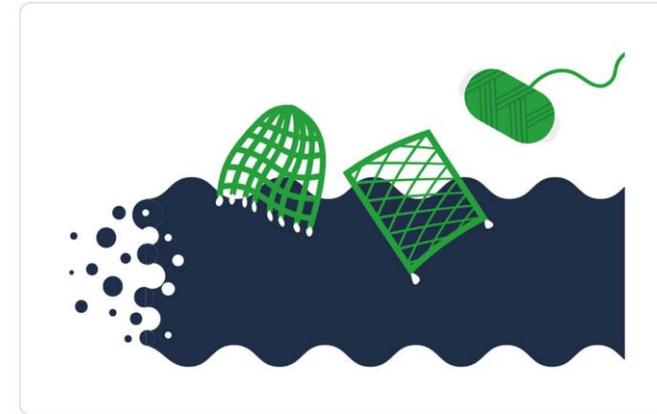
# 川島織物セルコン／環境活動のあゆみ



# 川島織物セルコン／これまでの環境活動

## ■ 廃棄漁網などからリサイクルした100%再生糸の利用

アクアフィル社開発の再生糸を、多くのタイルカーペットに使用しています。世界の沿岸地域において問題となっている、海洋に廃棄された漁網などから再生された水平循環型のリサイクル100%ナイロン（エコニール）を積極的に取り入れることで、海洋汚染の防止に寄与します。



ー 床からエコとデザイン性の融合

iF DESIGN AWARD 2020 受賞

川島織物セルコンのタイルカーペットシリーズ「MODE STYLE」が、国際的に権威のあるデザイン賞の「iF DESIGN AWARD 2020」を受賞しました。

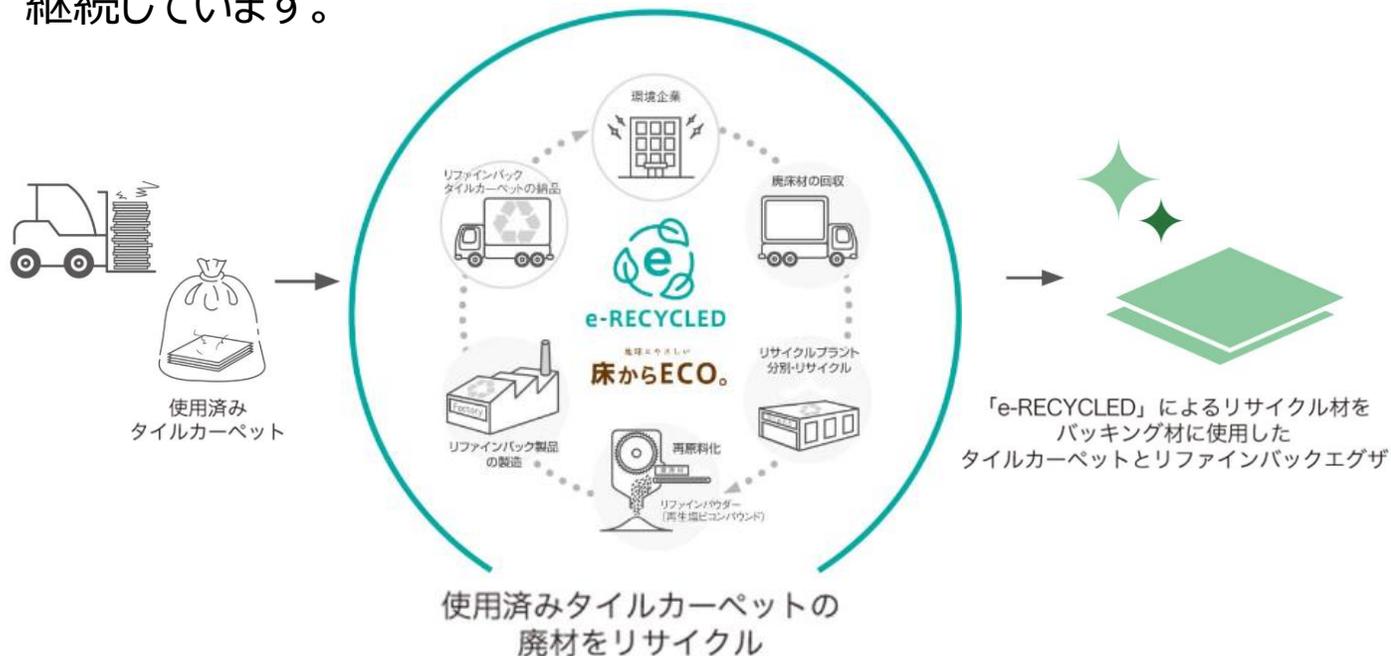


# 川島織物セルコン／これまでの環境活動

## ■ 循環型リサイクルシステム（マテリアルリサイクル）

2003年に業界ではじめて使用済みタイルカーペットを再利用するシステム「e-RECYCLED」を構築しました。

現場で出る廃材を捨てるのではなく、再び資源に変えて、タイルカーペットやビニル床タイルにリサイクルする取り組みを20年以上継続しています。



## ■ エコ・ファーストの約束

環境先進企業としての取り組み



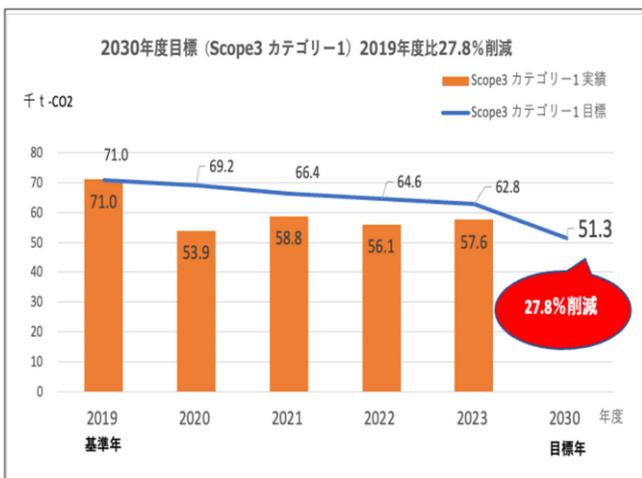
# SBT取得と脱炭素取り組みへ向けた活動

## ■ 2030年GHG排出量削減目標がSBT認定を取得



- ・2019年度を基準年とし2030年度までに  
scope1+2 47%削減  
scope3category1 27.8%削減
- ・Scope3category1 サプライヤーの80%が  
2027年度までにSBT目標を設定する。

ターゲットの概要 短期的: 2030年度 までに1.5°C



脱炭素活動を進めるためには  
サプライヤーの協力が必要



GHGはサプライチェーンで繋がっている



サプライチェーンで連携し  
脱炭素活動で  
競争力を高める!

# 活動計画

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
GHG排出量の 一次データ算出 および scope3-category1 サプライヤー サプライヤー エンゲージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶《ステップ0》 サプライヤー(協力工場・仕入先)の商品別・納品量or納品金額順の会社名、フロー(MAP)作成</li> <li>▶《ステップ0》 KSC脱炭素の取り組み目標公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶《ステップ1》意識・意思確認(アンケート等)、アプローチ方法の検討</li> <li>▶《ステップ2》協力依頼(目標の策定依頼)</li> <li>▶ アンケートによる現状把握と説明会の開催</li> <li>▶ サプライヤー各社の意識調査結果からのカテゴライズおよび削減効果に有効な優先順位付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶《ステップ3》GHG排出量の一次データ化に向けたLCA検討</li> <li>▶ サプライヤー各社のGHG排出量の数値化および一次データ算出・データ提供の交渉</li> <li>▶ 算定方法およびLCA→CFPの妥当性評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶《ステップ5》定期的進捗状況、対策効果の確認</li> </ul>				

# ステップ1 / サプライヤを巻き込む活動を開始

## 脱炭素の取り組みに関する説明会 (グリーンCPS協議会のご協力)

 CONTENTS

- 1. 「脱炭素経営、潮流、世の中の動き」**  
一般社団法人グリーンCPS協議会 代表理事 中村昌弘 (工学博士)
- 2. 「CO2排出量削減の取り組みとSBT認定のメリット」**  
株式会社 川島織物セルコン CSR推進担当 坂口 早耶
- 3. 「各社様の脱炭素活動推進へ向けてのご支援」**  
一般社団法人グリーンCPS協議会 代表理事 中村昌弘 (工学博士)
- 4. 質疑応答**

**16:00終了**

© Kawashima Selkon Textiles Co., Ltd. 2

## サプライヤ各社向けの調査アンケート

「脱炭素への取り組み状況」調査 

川島織物セルコンではサプライチェーン全体でのCO2排出量削減を推進するために、サプライヤーの皆様のお伺いしております。ご多用のところ誠に恐縮ですが、8月23日(金)までに下記アンケートフォームよりご回答賜りますよう、ご協力をお願い申し上げます。(所要時間:5分)

セクション 1

- 貴社・団体名 \*
- 担当者所属・役職

# 説明会、アンケートを通じたサプライヤ巻き込みへの手ごたえ

## ■ アンケート結果による各社の反応（取引金額比）

N=83社

ランク	ポジティブ	ニュートラル	ネガティブ	未回答	合計
A	100%	0%	0%	0%	100%
B	57%	17%	0%	26%	100%
C	0%	62%	0%	38%	100%
D	29%	22%	0%	49%	100%
合計	<b>48%</b>	<b>22%</b>	0%	30%	100%

**70%**

+ 京都企業へのアプローチ→**80%達成の見通し**

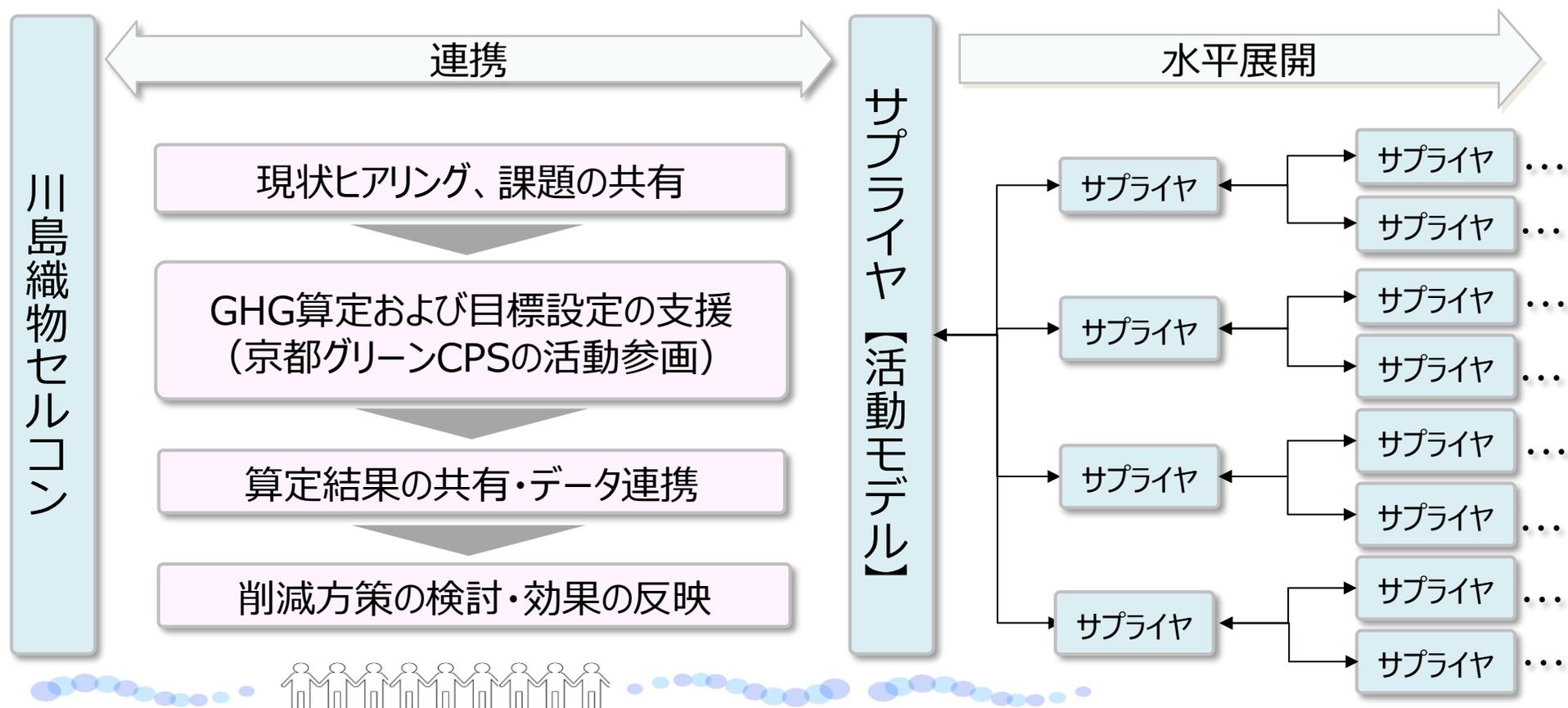
ランクA: SBT取得or目標設定済

ランクB: TCFD宣言orSDGs

ランクC: 他、取引金額500万円以上

ランクD: 他、取引金額500万円以下

# 今後の活動計画、狙い



サプライヤ各社様と協力し合って進めていくことが、サプライチェーン全体での競争力を高めるとともに、業界全体の成長と環境社会への貢献に繋がる！

KYOTO



Green **CPS**



# ステップ1 / サプライヤを巻き込む活動を開始

サプライヤ向け説明会を実施  
(問題意識や実施構想を説明)

サプライヤの意識調査  
(アンケートで個社の意識を確認)

サプライヤ個社活動の提案  
(個社別の推進を支援)

サプライヤ・エンゲージメント推進  
(サプライチェーン全体での活動)

**脱炭素の取り組みに関する説明会**

15:00~16:00 開催  
開始までしばらくお待ちください

《ご協力お願い》

- ・オンラインの表記名を**会社名+参加者氏名**にご変更願います。
- ・マイクがミュートになっていることをご確認ください。

株式会社川島織物セルコン  
CSR・安全衛生推進グループ  
2024年7月24日



CONTENTS

1. 「脱炭素経営、潮流、世の中の動き」  
一般社団法人グリーンCPS協議会 代表理事 中村昌弘 (工学博士)
2. 「CO2排出量削減の取り組みとSBT認定のメリット」  
株式会社 川島織物セルコン CSR推進担当 坂口 早耶
3. 「各社様の脱炭素活動推進へ向けてのご支援」  
一般社団法人グリーンCPS協議会 代表理事 中村昌弘 (工学博士)
4. 質疑応答

16:00終了

© KansaiShima Seikun Textiles Co., Ltd. 2

「脱炭素への取り組み状況」調査

川島織物セルコンではプラットフォーム全体でのCO2排出量削減を推進するために、サプライヤーの皆様のご協力をお願いしております。ご多忙中にもかかわらず、迅速なご回答を下記アンケートフォームにてご回答くださると、ご協力をお願い申し上げます。(所要時間5分)

セクション1

1. 貴社・団体名 \*

名前を入力してください

2. 担当者所属・役職

名前を入力してください

# 「京都グリーンCPS」の概要、目的と狙い

## • 目的

- 各事業者は脱炭素活動を推進していかなければならない状況下ではあるが、その具体的な進め方については不透明で明確にされていない現状がある。この問題については個社で対応することの限界があり、問題意識を共有する地域企業で集まり、共通活動を行うことで、脱炭素活動を加速する。
- 特に脱炭素活動へ向けてのアプローチでは、エネマネや算定手法の知識取得などに留まらず、事業部やサプライヤの巻き込み、また、製品設計から循環経済の構築まで、幅広い。現状、これらのアプローチは確立されているとは到底、言えない状況である。そのため、いくつかのテーマを定めて、各テーマに対応するセグメントとして活動を進め、各社の実務活動へと落とし込んでいくためのメソッドを確立する。
- これらの成果は、未だ明確化されていない脱炭素活動を進めるための業務手法であり、業界や地域社会へ対して進むべき道や具体的な打ち手、手法を提供することで、地域のリーディング活動として貢献する。

## • 狙い

- 脱炭素問題における事業者における最大の問題のひとつは、環境対応と経済性（経営）は両立することが難しいと認識されていることがある。この問題に対応するための経営戦略的なアプローチと手法を構築し、コスト問題としてしか映らない脱炭素活動を付加価値化していくための考え方を普及させる。
- 特に、脱炭素活動は「知る・測る」から「減らす」段階に移る中で、経営層から事業部やサプライヤ、また、市場・顧客との合目的性を確立することに意義があるため、これらのネットワークづくり、意識醸成を図る。